

2026年度

履修登録の手引き

学則等の変更点

2・3・4年次生

国際言語文化学部

現代人間学部

社会情報学環

女性キャリアデザイン学環



京都ノートルダム女子大学



掲示を見よう。

確かな情報は、あなたの強い味方です

manaba



京都ノートルダム
女子大学HP



教務課・学事課
WEBサイト



※ 重要 ※

▽科目の新設や名称変更が行われた場合、在學生（2025年度以前の入學生）でも一部の新しい科目を履修できます（選択科目のみ。変更前のまま（読替）となる科目もあります）。履修登録の手引き（本冊子）の「科目の新設・廃止、科目名の変更と移行措置」を見て指示に従ってください。

▽「学生便覧」は、入学時だけの配付です。各年度の学事日程や開講科目、ルールの変更点などの情報は、この冊子および「ND手帳」等に掲載し毎年度配付します。

▽教室配当は授業日にUNIPANDAにログインし「スケジュール」で随時確認してください。

▽WEB登録画面には通常の登録をする科目と定員設定科目が混在することになりますので、定員設定科目を把握し、抽選結果を十分確認してください（登録可とならなかった科目は画面に表示されていません）。

▽曜日講時等の変更等の情報は学生ポータルUNIPANDAや、学修支援システムmanabaでお知らせしますので、これらを参照の上、各自の時間割を修正してください。

履修登録の手引き

● 目 次 ●

学則等の変更点（2025→2026年度）	3
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	3
変更点② 試験の実施要領について	4
変更点③ 成績評価について	7
学則等の変更点（2024→2025年度）	9
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	9
変更点② 免許・資格課程、各種プログラムの変更	11
学則等の変更点（2023→2024年度）	12
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	12
変更点② 免許・資格課程、各種プログラムの変更	14
学則等の変更点（2022→2023年度）	15
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	15
変更点② 免許・資格課程、各種プログラムの変更	16
学則等の変更点（2021→2022年度）	17
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	17
変更点② 免許・資格課程、各種プログラムの変更	18
学則等の変更点（2020→2021年度）	20
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	20
変更点② 免許・資格課程、各種プログラムの変更	22
学則等の変更点（2019→2020年度）	23
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	23
変更点② 成績評価に関する確認についての変更	24
変更点③ 試験の実施要領・不正行為等についての変更	25
キャリア教育について	27
1. キャリア形成支援	27
2. キャリア教育の達成目標	27
3. PBL型「キャリア形成ゼミ」	27
履修登録の手引き	28
STEP 1 時間割表（履修計画書）作成	31
STEP 2 定員設定科目エントリー・履修登録	33
STEP 3 登録修正・確認	37
登録用語の基礎知識	39
時間割表（履修計画書）	40

.....

大学で履修する科目は、専攻する分野や希望の資格によって一人ひとり異なります。
 あなた自身の目標、興味・関心や将来のことなども考えに入れ、じっくりと選びましょう。
 「履修登録」とは、1年間に学ぶ科目を大学に届ける、重要な手続きです。
 この「履修登録の手引き」と「学生便覧」「シラバス」をよく読んで、注意深く作業してください。
 ※学生便覧、ND手帳以外は紙の冊子は配付しません

- 【履修登録ウェブサイト (<http://www.notredame.ac.jp/nd/instsec/>) で閲覧・確認すべきもの】
- 履修登録の手引き（この冊子）、開講科目表兼受講科目一覧表、ND手帳
 - 2026年度授業時間表、各学科の資料等
 - 2026年度シラバス
 - 時間割表（履修計画書）
 - 各資格単位修得確認表
 - ※時間割表（履修計画書）は履修登録の手引きの巻末にもありますので利用してください。
 - 定員設定科目一覧表

※入学年度によってカリキュラムが異なります。学生便覧の「授業科目の履修・登録」は、下表のとおり参照してください

【学生便覧「授業科目の履修・登録」の学部・学科別、入学年度別参照ページ】(2019年度以後入学生)

入学年度 学部・学科	2020年度以前	2021年度～2023年度	2024年度	2025年度
国際言語文化学部 英語英文学科	5 (p.29)	5 (p.31)		
国際言語文化学部 国際日本文化学科	5 (p.34)	5 (p.37)		5 (p.36)
現代人間学部	6 (p.39)	6 (p.43)	6 (p.41)	
現代人間学部 心理学科	6 (p.44)	6 (p.48)	6 (p.45)	
現代人間学部 こども教育学科	6 (p.49)	6 (p.53)	6 (p.50)	
社会情報学環	/	7 (p.59)	7 (p.55)	
女性キャリアデザイン学環	/	/	/	8 (p.59)

学則等の変更点（2025→2026年度）

変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

各年度入学生のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2026年度からの科目の新設・廃止・配当年次変更等があります。

下表に掲げた科目に関する変更は、2025年度以前入学の在学生にも適用され、その科目を履修することができます。2026年度における対応も含めて備考欄を確認してください。

（凡例）

㊦=科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

㊧=㊦（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替=科目名が変更された科目について、㊦を履修すれば元の㊧科目名称に読替えとなることを示す。

経過=廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【変更等内容：全年度入学者】

コースナンバー	授業科目名		備考
	㊦ 2026年度以降	㊧ 2025年度まで	
【現代人間学部 心理学科専門教育科目】			
PSA3255	関係行政論		配当年次変更 3年次→2年次
PSA3202	精神疾患とその治療		配当年次変更 3年次→2年次
【社会情報学環 専門教育科目】			
CSA1253	現代出版事情	(対応科目なし)	新設（司書に関する科目を兼ねる）

※2027年度以降に不開講となる科目については別途お知らせします。履修を希望する科目があれば、2026年度中に必ず履修するようにしてください。

変更点② 試験の実施要領について

2026年度以降、**定期試験は廃止**されます。また、学生便覧の「試験の実施要領について」が次項のように変更となります。変更点は下表のとおりです（詳細は「学生便覧 変更内容」参照）。

	㊦ 2026年度以降	㊧ 2025年度まで
	平常試験・まとめ等（授業期間内）	定期試験（授業期間終了後）
実施時期	授業期間内	定期試験・補講調整期間
方法	筆記試験・実技試験等	筆記試験
欠席対応	担当教員の判断	教務委員会で追試験の可否を審議
時間	（解説等を含め）90分の授業内	原則として75分
退出許可	授業時間内のため原則不可	試験開始から30分経過後
追試験	担当教員の判断	指定日実施
追試験の欠席対応	担当教員の判断	なし
再試験	指定日実施（卒業年次生のみ） 卒業要件単位の不足と資格（二級建築士及び公認心理師の受験資格に限る。）の取得条件単位の不足の合計が4単位以内であれば4単位を限度として対象となる場合がある。 ただし、学長が特に必要と認めた場合は、4単位を超えて対象となる場合がある。	指定日実施（卒業年次生のみ） 卒業要件単位の不足と資格（二級建築士及び公認心理師の受験資格に限る。）の取得条件単位の不足の合計が4単位以内であれば4単位を限度として対象となる場合がある。
再試験の欠席対応	なし	なし

【学生便覧 変更内容】

1. 試験について

- (1) 試験には、平常試験、追試験、及び再試験がある。
- (2) 試験を受けることができる授業科目は、履修登録した科目に限る。授業担当者の指示やシラバスに注意すること。
- (3) 授業中にレポートなどの提出を指示された場合、期限までに必ず提出しなければならない。授業中に行われる「確認テスト」や「まとめ」、「レポート」は平常試験とともに成績評価の対象となることがあるので、シラバスの「評価方法」や授業担当者の指示に留意すること。

2. 学期末の試験等

- (1) 平常試験
 - ① 実施の有無について授業担当者の指示を確認すること（実施しない場合もある）。
 - ② 実施方法その他：全て授業担当者の指示に従うこと。
 - ③ 授業期間内に実施する。
 - ④ 欠席した場合：追試験に相当する措置の有無、診断書・事故証明書等の必要書類その他の取り扱いについては、全て授業担当者の判断に委ねられる。
- (2) レポート

【レポート作成にあたっての注意事項】

他人の著作物を自分の著作物の中に取り込む場合、すなわち引用を行う場合、一般的には、以下の事項に注意すること。

- ① 他人の著作物を引用する必然性があること。
- ② かぎ括弧をつけるなど、自分の著作物と引用部分とが区別されていること。
- ③ 自分の著作物と引用する著作物との主従関係が明確であること（自分の著作物が主体）。
- ④ 出所の明示がなされていること。（第48条）

正しい「引用」ができていない場合、「盗用」「剽窃」として不正行為とみなされる。試験での不正行為と同様、原則としてその者の当該学期における履修科目の成績評価は全て無効、教育実習と教職実践演習は履修不可となるので、十分に注意すること。また、盗用・剽窃等により著作権を侵害した場合、刑事上の処罰（著作権、出版権、著作隣接権の侵害の場合→10年以下の懲役又は1000万円以下の罰金。著作者人格権、実演家人格権の侵害など→5年以下の懲役又は500万円以下の罰金）だけでなく、民事上の損害賠償請求をされることがある。

3. 追試験

- (1) 実施の有無について授業担当者の指示を確認すること（実施しない場合もある）。
- (2) 実施方法その他：全て授業担当者の指示に従うこと。
- (3) 欠席した場合：再追試験措置の有無、診断書・事故証明書等の必要書類その他の取り扱いについては、全て授業担当者の判断に委ねられる。

4. 再試験

- (1) 卒業判定を受ける年度の成績において、卒業要件単位の不足と資格（二級建築士及び公認心理師の受験資格に限る。）の取得条件単位の不足の合計が4単位以内である者には、卒業判定教授会の決定により、当該年度に不合格となった授業科目の中から、4単位を限度として再試験を行うことがある。ただし、学長が特に必要と認めた場合は、4単位を超えて再試験の対象とすることができる。なお、卒業研究及び卒業論文並びに「評価なし」とされた授業科目は、再試験の対象とならない。
- (2) 再試験の受験を許可された場合は、成績とともに通知する。
- (3) 再試験においては本試験と異なった方法（実技試験、レポートなど）で行われることがある。
- (4) 再試験の実施にあたっては、卒業判定後に卒業判定結果と同時に別途通知される指示に従うこと。
- (5) いかなる理由があっても再試験の追試はない。
- (6) 再試験科目の成績評点は60点を最高とし、この得点を得た場合を合格とする。
- (7) 再試験料は1科目2,000円とする。

5. 不正行為

- (1) いわゆるカンニングや替え玉受験、論文・レポート等における盗用・剽窃などの不正行為を行った場合は、原則としてその者の当該学期における履修科目の成績評価は全て無効とする。
- (2) レポートに他人の著作物を無断で使用し、正しい引用がなされていない盗用・剽窃があった場合も不正行為とみなし(1)と同様に取り扱う。
- (3) レポートの内容等を他人に提供し、提供された側がそれを使用した場合、提供した側も不正行為を助長したことになり、不正行為を行ったとみなし(1)と同様に扱う。
- (4) これらの科目は次学期以降に再履修することができる。ただし、学長が特に必要と認めた場合を除き、教育実習及び教職実践演習の履修は以後認めない。
- (5) 不正行為があった場合は、学内に公示する。また、学則第48条に定める懲戒の対象となることがある。

【重要】生成AI（ChatGPT等）の利用について

生成AIは今後さらに進化、普及し、今後一層私たちの社会や日常生活に身近な存在になることは明らかであるため、活用することでより成長する方法（具体例参照）を考えていただきたいと思います。具体的には以下のような活用方法が考えられます。

- (1) **自分の考えとは反対の意見をAIに生成させ、自分の考えとの比較を行うことにより批判的思考力を育てる。**
- (2) **教員や受講生からのフィードバックを直ちに得にくい時、より気軽に自分の学習内容に関するフィードバックを求める。**

利用の仕方によって、身近なパートナーとすることができるからこそ、その一方で留意していただきたいこともあります。

(1) **学びのプロセスや何を学ぶのかを第一に考える**

大学での学びの本質は、結果のみを求めることなく、学びのプロセスや何をいかに学ぶのかを第一に考えることが重要です。生成AIは与えられた問いに対し自動的に回答を生成するシステムですので、回答のみを求めるために安易に利用することは、さんの思考力や創造力の成長を阻害することにつながります。

(2) **レポートや課題は、自分自身の言葉で作成する**

レポートや課題、卒業研究等では、根拠とする資料を明示し、分なりの考えを示すことが必要です。生成AIによって生み出された内容には誤った情報が含まれていることがありますし、出典は示されません。そのため、生成AIが生み出した文章をそのままレポート等とすることは認められません。

(3) **個人情報の流出、著作権などにも留意が必要**

生成AIへの質問内容（入力内容）により、個人情報が流出したり、学習データに著作権のある文章が含まれていたりする場合は、著作権侵害等の恐れもあります。学習面のみならず、個人での活用についても、個人情報流出や知的財産権侵害については留意する必要があります。

授業担当教員から、生成AIの利用について指示があった場合は、その指示に従うこと。

変更点 ③ 成績評価について

学生便覧「成績評価について」が以下のように変更となります。変更点は下表のとおりです。

新 2026年度以降	旧 2025年度まで
評価なし /	評価なし / (試験欠席、出席日数不足など)

授業の実施方法にかかわらず、主体的に授業に参加しなければならない。授業参加度の評価は、担当教員が科目の特性等に応じて、予めシラバスにその方法を明示したうえで行う。授業参加度が著しく低い場合は、当該科目の単位が与えられないことがある。

【学生便覧 変更内容】

- (1) 授業科目の成績評価は、筆記・口述試験、論文、レポート、実験、実習、実技及び授業参加度などで行われる。
- (2) 授業科目の成績評価は、原則として半年毎に授業担当者から教務課に提出される。ただし、通年及び夏期集中の科目は学年末に提出される。
- (3) 成績評点は、100点を満点とし、60点以上を合格とする。
- (4) 成績通知の評価については、次の基準により換算して記載する。

成績評点等	評 価
90点以上	秀 (A)
80～89点	優 (B)
70～79点	良 (C)
60～69点	可 (D)
59点以下	不可
評価なし	/

() 内は英語表記

ただし、学則第16条、第17条及び第17条の2の規定により本学以外での学修を認定した科目は「認」（英語表記は「T」）で示される。100点を満点とする評価が難しい科目は「合格」（英語表記は「P」）又は「不可」で示される。

なお、成績証明書については「不可」及び「/」の科目は記載しない。

- (5) 履修した科目の成績評価及び修得単位は、原則として学期末に学生ポータルサイト（UNIPA）で保証人及び本人に通知する。ただし、通年及び夏期集中の授業科目は原則として学年末に通知する。
- (6) 受取った成績について疑問があるときは、以下の場合に限り、「成績評価に関する確認書」（所定用紙）を教務課に提出することができる。
 - ① 成績の誤記入等、授業担当教員の誤りと思われるもの
 - ② シラバス等により周知している成績評価の方法に沿っていないと思われるもの

成績通知後1週間以内（詳細は別途UNIPAで周知）に提出すること。ただし、卒業又は修了の判定の対象者については、これにかかわらず速やかに提出すること。教務課から教員へ問合せ、後日回答する。

放送大学特別聴講について

以下の2026年度不開講となる科目を放送大学科目の履修で単位認定を目指す場合については、「ND 学生学修活動等支援制度（全額支援）」対象となります。現時点で決定している科目は以下の通りです。

申請方法詳細については、教務課・学事課サイトまたは manaba 「2026 年度履修登録関係」に掲出します。

【2025年度入学者のみ】

	授業科目名	備考
【共通教育科目】		
GEN1551	自然災害からの防災・減災	2026年度不開講 読替 放送大学「災害を乗り越える防災基礎力入門（'26）」

【全年度入学者】

	授業科目名	備考
【共通教育科目】		
GEN1400	身近な自然科学	2026年度不開講 読替 放送大学「自然科学はじめの一步（'22）」

※2026年度後期の履修となります。都合により、上記の放送大学の科目が不開講となる可能性もありますので、履修計画をたてる際には十分に留意すること。

※上記2科目の履修を考えているかたは、4月14日（火）までに下記QRコードにて履修希望を提出してください。

2026年度放送大学特別聴講 履修
希望調査



学則等の変更点（2024→2025年度）

変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

2017～2024年度入学生のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2025年度からの科目の新設・廃止があります。

- ・新設された選択科目のうち下表に掲げた科目（**新**）は、2017～2024年度入学生も履修することができます。
- ・必修科目などは、従来どおり変更前の科目名のまま（**読替**）となります。
- ・廃止される科目がいつまで開講されるかなどの「経過措置」、新旧の科目の対応の仕方などの情報は、下表に略称で表示しています（略称の意味については凡例を参照のこと）。

【全年度入学者】

【「後継科目」に**読替**科目名

備考

【**共通教育科目**】がない場合、新科目（後継科目）に対応する旧科目を既に修得済みであれば、その新科目は履修できません（履修する必要はありません）。
2026年度不開講
読替 放送大学「自然科学はじめての一步（'22）」

※2026年度後期の履修となります。都合により、上記の放送大学の科目が不開講となる可能性もありますので、履修計画をたてる際（凡例）に留意すること。

新＝科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

旧＝**新**（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替＝科目名が変更された科目について、**新**を履修すれば元の**旧**科目名称に読替えとなることを示す。

経過＝廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【新旧科目対応・経過措置早見表（2017年度～2024年度入学者のみ）】

新 2025年度からの科目（新科目）		旧 2024年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期）
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【共通教育科目】				
GSW1200	女性と健康	GEN1201	●身近な医学	読替
	（対応科目なし）	GEN1401	心理学入門	廃止（2027年度まで）
GBE2312	身近な英文法Ⅰ	GBE2305	●身近な英文法	読替
	（対応科目なし）	GBL1200	文章作成法Ⅰ	廃止（こども教育学科・社会情報学環については学部等が別に定める） ※2025年度以降はメディア利用科目
	（対応科目なし）	GBL1201	文章作成法Ⅱ	廃止（社会情報学環については学環が別に定める）
	（対応科目なし）	GBL3500	話し方と自己表現	廃止（2027年度まで）
	（対応科目なし）	GCE1102	キリスト教学	廃止（教育センターが別に定める） ※2025年度以降はメディア利用科目
	（対応科目なし）	GCE1103	キリスト教音楽概論	廃止（教育センターが別に定める） ※2025年度以降はメディア利用科目
	（対応科目なし）	GCP1102	ノートルダム学	廃止（2026年度まで）
GCP3504	社会とキャリア	GCP3501	●キャリア形成	読替 （2027年度から）

■ 2025年度からの科目 (新科目)		□ 2024年度までの科目 (旧科目)		備考 (開講する時期)
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【英語英文学専攻専門教育科目】				
	(対応科目なし)	EGB1310	Practical English I	廃止 (学部等が別に定める)
	(対応科目なし)	EGB1359	Practical English II	廃止 (学部等が別に定める)
	(対応科目なし)	EGB1100	英語キャリア戦略	廃止
	(対応科目なし)	EGB1309	同時通訳入門	廃止
	(対応科目なし)	EGB2308	同時通訳法 I	廃止
	(対応科目なし)	EGB2358	同時通訳法 II	廃止
	(対応科目なし)	EGE2250	Global Issues	廃止 (2026年度以降、女性キャリアデザイン学環で他学科提供科目として開講予定)
	(対応科目なし)	EGE3255	Simultaneous Translation	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	EGE4652	Global Liberal Arts Seminar	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	EGR1152	ホスピタリティ研究	廃止
【国際日本文化学専攻専門教育科目】				
CSA1300	日本語教育論 I	CSA2304	●日本語教育入門	読替 (2025年度から)
	(対応科目なし)	CSA2307	スピーチの基礎	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	CSA2512	昔話とストーリーテリング	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	CSA1208	博物館概論	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	CSA1454	博物館情報・メディア論	廃止 (2027年度まで)
【現代人間学部学科横断プロジェクト型科目】				
	(対応科目なし)	CHS1502	現代社会と人間	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	CHS1552	病児の発達と支援	廃止
	(対応科目なし)	CHS1503	こどもと自然	廃止
【心理学科専門教育科目】				
	(対応科目なし)	SLB1206	生活と福祉	廃止 (2024年度生入学者のみ2027年度まで)
【こども教育学科専門教育科目】				
	(対応科目なし)	EDB1200	こども教育基礎演習 (24以前)	廃止 (学部等が別に定める)
【社会情報学環専門教育科目】				
	(対応科目なし)	INF1400	社会情報基礎演習 I (24以前)	廃止
	(対応科目なし)	INF1450	社会情報基礎演習 II (24以前)	廃止 (学環が別に定める)
	(対応科目なし)	GBL3500	話し方と自己表現	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	CSA2307	スピーチの基礎	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	CSA1454	博物館情報・メディア論	廃止 (2027年度まで)
【学際教育科目】				
IDE1500	共生プロジェクト実践		(対応科目なし)	新設
【学芸員課程に関する科目】 (国際言語文化学部 2024年度以前入学者)				
	(対応科目なし)	MUS1800	博物館概論	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	MUS1850	博物館経営論	廃止 (2027年度まで) ※2025年度中に修得すること
	(対応科目なし)	MUS2800	博物館資料論	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	MUS2850	博物館資料保存論	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	MUS1851	博物館展示論	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	MUS1852	博物館教育論	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	MUS1853	博物館情報・メディア論	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	MUS3800	博物館実習 I (学内)	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	MUS3801	博物館実習 II (館園)	廃止 (2027年度まで)
【日本語教員養成課程】 (2024年度以前入学者)				
	(対応科目なし)	JLT3800	日本語教育実習 I	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	JLT3850	日本語教育実習 II	廃止 (2027年度まで)
	(対応科目なし)	JLT3855	日本語教育実習 III	廃止 (2027年度まで)

変更点② 免許・資格課程、各種プログラムの変更

○学芸員課程【国際言語文化学部2024年度以前入学者】

博物館法 施行規則に 定める科目	最低 修得 単位数	2024年度までの科目		単位数	備考（開講する時期）
		左の科目区分に対応する本学開設授業科目			
		コースナンバー	授業科目名		
博物館概論	2	MUS1800	博物館概論	2	廃止（2027年度まで）
博物館経営論	2	MUS1850	博物館経営論	2	廃止（2027年度まで） ※2025年度中に修得すること
博物館資料論	2	MUS2800	博物館資料論	2	廃止（2027年度まで）
博物館資料保存論	2	MUS2850	博物館資料保存論	2	廃止（2027年度まで）
博物館展示論	2	MUS1851	博物館展示論	2	廃止（2027年度まで）
博物館教育論	2	MUS1852	博物館教育論	2	廃止（2027年度まで）
博物館情報・メディア論	2	MUS1853	博物館情報・メディア論	2	廃止（2027年度まで）
博物館実習	3	MUS3800	博物館実習Ⅰ（学内）	2	廃止（2027年度まで）
		MUS3801	博物館実習Ⅱ（館園）	1	廃止（2027年度まで）

（備考）

- 印は、変更が適用された後に履修した場合の科目名（成績証明書、成績通知等に記載される科目名）を示す。
- 新設科目の科目区分などの詳細は、各学部・学科、入学年度別の「受講科目一覧表」を参照のこと。

学則等の変更点（2023→2024年度）

変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

2017～2023年度入学生のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2024年度からの科目の新設・廃止があります。

- ・新設された選択科目のうち下表に掲げた科目（**新**）は、2017～2023年度入学生も履修することができます。
- ・必修科目などは、従来どおり変更前の科目名のまま（**読替**）となります。
- ・廃止される科目がいつまで開講されるかなどの「経過措置」、新旧の科目の対応の仕方などの情報は、下表に略称で表示しています（略称の意味については凡例を参照のこと）。

【「後継科目」について】

新旧の読替措置がない場合、新科目（後継科目）に対応する旧科目を既に修得済みであれば、その新科目は履修できません（履修する必要がありません）。

（凡例）

新＝科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

旧＝**新**（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替＝科目名が変更された科目について、**新**を履修すれば元の**旧**科目名称に読替えとなることを示す。

経過＝廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【新旧科目対応・経過措置早見表（2017年度～2023年度入学者のみ）】

新 2024年度からの科目（新科目）		旧 2023年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期）
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【共通教育科目】				
GCP1501	キャリア実習Ⅰ	GCP1550	●短期インターンシップ	読替
GCP1502	キャリア実習Ⅱ		(対応科目なし)	新
	(対応科目なし)	GCP2550	インターンシップ	廃止
GCP3502	インターンシップⅠ		(対応科目なし)	GCP2550インターンシップ 修得の場合は履修不可
GCP3503	インターンシップⅡ		(対応科目なし)	GCP2550インターンシップ 修得の場合は履修不可
GCP2551	海外キャリア実習	GCP3550	●海外インターンシップ	読替
【英語英文学科】				
EGR1152	ホスピタリティ研究	EGR1151	●ホスピタリティ論	読替
	(対応科目なし)	EGR3504	ホスピタリティ演習	廃止
【国際日本文化学科】				
CSA2101	ホスピタリティ・スキル演習	CSA2100	●ホスピタリティ・スキル	読替
	(対応科目なし)	CSA3263	出版文化史	廃止（2024年度まで）
【生活環境学科】				
SLB1205	住居学概論	SLB1251	●住居学概論（製図を含む）	読替
LDA1251	暮らしと電気・エネルギー	LDA1250	●家庭電気・機械及び情報処理	読替
LDA2408	住環境デザイン	LDA2405	福祉住環境デザイン	読替（2025年度から）
LDA2409	家庭科教育法Ⅰ	LDA2407	●家庭科教育法Ⅰ（生活の自立と衣食住）	読替（2025年度から）
LDA2351	家庭科教育法Ⅱ	LDA2350	●家庭科教育法Ⅱ（家族・家庭生活と福祉）	読替（2025年度から）
LDA3602	家庭科教育法Ⅲ	LDA3601	●家庭科教育法Ⅲ（指導法と教材作成）	読替（2026年度から）
LDA3655	家庭科教育法Ⅳ	LDA3651	●家庭科教育法Ⅳ（模擬授業）	読替（2026年度から）

LDA3656	保育学	LDA3652	●保育学（実習及び家庭看護を含む）	読替（2026年度から）
EDI2211	現代社会と福祉	SWA1201	●現代社会と福祉 I	読替（2025年度から）
SWA2208	高齢者と福祉	SWA2206	●高齢者福祉論	読替（2025年度から）
EDI2210	こども家庭福祉	SWA2203	●児童福祉論	読替（2025年度から）
SWA2453	介護と福祉	SWA2400	●介護技術	読替（2025年度から）
PSA3202	精神疾患とその治療	SWR2203	●精神疾患とその治療 I	読替（2026年度から）
【心理学科】				
PSB2351	心理学英文講読	PSB2350	●心理学英文講読（基礎）	読替（2025年度から）
PSB3602	心理学応用実験演習	PSB3600	●上級実験演習	読替（2026年度から）
PSA1552	社会・集団・家族心理学	PSA1551	●社会・集団・家族心理学 I（社会・集団）	読替
PSA2552	家族臨床心理学	PSA2551	●社会・集団・家族心理学 II（家族）	読替（2025年度から）
PSA3202	精神疾患とその治療	SWR2203	●精神疾患とその治療 I	読替（2026年度から）
【こども教育学科】				
EDB1401	教育心理学	EDB1400	●こどもの教育心理学	読替
EDB1251	特別支援教育	EDB1250	●特別支援教育論（初等）	読替
EDI2210	こども家庭福祉	EDI2200	●児童福祉論	読替（2025年度から）
EDI2211	現代社会と福祉	EDI2100	●現代社会と福祉 I	読替（2025年度から）
EDI3206	コミュニティと福祉	EDI3203	●地域福祉論 I	読替（2026年度から）
EDN2501	教育社会学	EDN2550	●教育と社会	読替（2025年度から）
EDN3403	教育相談の理論及び方法	EDN3400	●教育相談の理論と方法	読替（2026年度から）
EDN4651	教職実践演習	EDN4650	●教職実践演習（幼・小）	読替（2027年度から）
EDP3203	生徒指導・進路指導の理論及び方法	EDP3202	●生徒指導・進路指導	読替（2026年度から）
EDB2400	知的障害者教育論	EDD2450	●知的障害者教育論 I	読替（2025年度から）
EDB2450	肢体不自由者教育論	EDD2451	●肢体不自由者教育論 I	読替（2025年度から）
【社会情報課程】				
INF2603	社会情報キャリア実習	INF2601	●社会情報インターンシップ	読替
INF2604	社会情報海外キャリア実習	INF2602	●社会情報海外インターンシップ	読替
LDA1251	暮らしと電気・エネルギー	LDA1250	●家庭電気・機械及び情報処理	読替
LDA2408	住環境デザイン	LDA2405	●福祉住環境デザイン	読替（2025年度から）
PSA2552	家族臨床心理学	PSA2551	●社会・集団・家族心理学 II（家族）	読替（2025年度から）

（備考）

- 印は、変更が適用された後に履修した場合の科目名（成績証明書、成績通知等に記載される科目名）を示す。
- 新設科目の科目区分などの詳細は、各学部・学科、入学年度別の「受講科目一覧表」を参照のこと。

変更点② 免許・資格課程、各種プログラムの変更

○中等教職課程

新 2024年度からの科目 (新科目)		旧 2023年度までの科目 (旧科目)		
教育の基礎的理解に関する科目等				
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	備考 (開講する時期)
TEA2805	教職論	TEA2800	●教師論	読替 (2025年度から)
TEA1800	教育原理	TEA1850	●教育原論	
TEA2806	教育心理学	TEA2801	●発達と学習の教育心理学	読替 (2025年度から)
TEA1851	教育課程論	TEA2802	●中等教育課程論	
TEA2807	道徳の指導法	TEA2803	●道徳の指導法 (中等)	読替 (2025年度から)
TEA4851	教職実践演習	TEA4850	●教職実践演習 (中・高)	読替 (2027年度から)

(備考)

- 印は、変更が適用された後に履修した場合の科目名 (成績証明書、成績通知等に記載される科目名) を示す。
- 科目区分などの詳細は、入学年度別の学生便覧「免許・資格課程、各種プログラム_教育職員免許状_履修科目及び単位表」を参照のこと。

学則等の変更点（2022→2023年度）

変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

2017～2022年度入学生のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2023年度からの科目の新設・廃止があります。

- ・新設された選択科目のうち下表に掲げた科目（**新**）は、2017～2022年度入学生も履修することができます。
- ・必修科目などは、従来どおり変更前の科目名のまま（**読替**）となります。
- ・廃止される科目がいつまで開講されるかなどの「経過措置」、新旧の科目の対応の仕方などの情報は、下表に略称で表示しています（略称の意味については凡例を参照のこと）。

【「後継科目」について】

新旧の読替措置がない場合、新科目（後継科目）に対応する旧科目を既に修得済みであれば、その新科目は履修できません（履修する必要がありません）。

（凡例）

新＝科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

旧＝**新**（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替＝科目名が変更された科目について、**新**を履修すれば元の**旧**科目名称に読替えとなることを示す。

経過＝廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【新旧科目対応・経過措置早見表（2017年度～2022年度入学者のみ）】

新 2023年度からの科目（新科目）		旧 2022年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期）
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【共通教育科目】				
GEH1254	哲学入門		（対応科目なし）	新設
【英語英文学科】				
EGL3459	イギリスの社会と文化	EGL3452	●英語圏文化	読替 （2024年度から）
EGR2101	ホスピタリティ・スキル演習	EGR2100	●ホスピタリティ・スキル	読替 （2024年度から）
EGR3504	ホスピタリティ演習	EGR3501	●フィールド研究	読替 （2024年度から）
EGR3552	ホスピタリティ&キャリア	EGR3551	●キャリアデベロップメント	読替 （2024年度から）

【新旧科目対応・経過措置早見表（2018年度～2022年度入学者のみ）】

新 2023年度からの科目（新科目）		旧 2022年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期）
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【英語英文学科】				
	（対応科目なし）	EGE3250	Comparative Culture Workshop	廃止（2024年度まで）
EGE2202	Global Japan Studies	EGE2200	●Japan Studies	読替 （2024年度から）
	（対応科目なし）	EGE3251	Japan Studies Workshop	廃止（2025年度まで）
	（対応科目なし）	EGE3354	Creative Writing	廃止（2025年度まで）
EGE3404	Argumentation and Debate	EGE3403	●Debate	読替 （2024年度から）
EGE3652	Global Career Skills Development	EGE3651	●Global Human Resource Development	読替 （2024年度から）
EGE2502	Intercultural Communication and Acculturation	EGE2501	●Intercultural Communication and Adjustment	読替 （2024年度から）
EGE4652	Global Liberal Arts Seminar	EGE4651	●Global English Seminar	読替 （2024年度から）
EGE2503	Study Abroad Preparation	EGE2500	●海外留学事前指導	読替 （2024年度から）

（備考）

- 印は、変更が適用された後に履修した場合の科目名（成績証明書、成績通知等に記載される科目名）を示す。
- 新設科目の科目区分などの詳細は、各学部・学科、入学年度別の「受講科目一覧表」を参照のこと。

変更点 ②

免許・資格課程、各種プログラムの変更

○司書課程（全学共通）（2022年度以前入学者）

図書館法施行規則に定める 科目	最低修得 単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目		備 考
		授業科目	単位数	
生涯学習概論	2	○生涯学習概論	2	} いずれか1科目のみ算入 } 学校経営と学校図書館は教職課程 } 履修者に限り履修できる。 } 2科目以上選択必修
図書館概論	2	○図書館概論	2	
図書館制度・経営論	2	○図書館制度・経営論	2	
図書館情報技術論	2	○図書館情報技術論	2	
図書館サービス概論	2	○図書館サービス概論	2	
情報サービス論	2	○情報サービス論	2	
児童サービス論	2	○児童サービス論	2	
情報サービス演習	2	○情報サービス演習Ⅰ ○情報サービス演習Ⅱ	2 2	
図書館情報資源概論	2	○図書館情報資源概論	2	
情報資源組織論	2	○情報資源組織論	2	
情報資源組織演習	2	○情報資源組織演習Ⅰ ○情報資源組織演習Ⅱ	2 2	
図書館基礎特論	1	<u>現代出版事情（変更）</u> 図書館基礎特論	<u>2</u> 1	
図書館サービス特論	1	<u>子どもの読書とメディア（変更）</u> 図書館サービス特論 学校経営と学校図書館	<u>2</u> 2 2	
図書館情報資源特論	1	京都資料論	1	
図書・図書館史	1	図書・図書館史	2	
図書館総合演習	1	図書館総合演習	1	
図書館実習	1	図書館実習	1	

※図書館基礎特論、図書館サービス特論は 2023 年度以降閉講

学則等の変更点 (2021→2022年度)

変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

2017～2021年度入学生のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2022年度からの科目の新設・廃止があります。

- ・新設された選択科目のうち下表に掲げた科目（**新**）は、2017～2021年度入学生も履修することができます。
- ・必修科目などは、従来どおり変更前の科目名のまま（**読替**）となります。
- ・廃止される科目がいつまで開講されるかなどの「経過措置」、新旧の科目の対応の仕方などの情報は、下表に略称で表示しています（略称の意味については凡例を参照のこと）。

【「後継科目」について】

新旧の読替措置がない場合、新科目（後継科目）に対応する旧科目を既に修得済みであれば、その新科目は履修できません（履修する必要がありません）。

（凡例）

新＝科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

旧＝**新**（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替＝科目名が変更された科目について、**新**を履修すれば元の**旧**科目名称に読替えとなることを示す。

経過＝廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【新旧科目対応・経過措置早見表（2017～2021年度入学者のみ）】

新 2022年度からの科目（新科目）		旧 2021年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期等）
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【共通教育科目】				
GCE2151	キリスト教美術	GCE2151	キリスト教美術	メディア利用科目
EDN3202	教育方法学		(対応科目なし)	新設
EDP3403	ICT活用教育		(対応科目なし)	新設

【新旧科目対応・経過措置早見表（2020～2021年度入学者のみ）】

新 2022年度からの科目（新科目）		旧 2021年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期等）
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【共通教育科目】				
GCE2151	特別活動・総合的な学習の時間の指導法		(対応科目なし)	新設

【新旧科目対応・経過措置早見表（2021年度入学者のみ）】

新 2022年度からの科目（新科目）		旧 2021年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期等）
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【共通教育科目】				
GBL1401	情報演習Ⅰa	GBL1401	情報演習Ⅰa	[排]情報演習Ⅰb
GBL1402	情報演習Ⅰb	GBL1402	情報演習Ⅰb	[排]情報演習Ⅰa
	(対応科目なし)	LDR3200	建築構造力学	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	LDR3201	デザイン論Ⅰ	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	LDR3251	デザイン論Ⅱ	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	SWR2250	リハビリテーション論	廃止（開講せず）
【共通教育科目<<心理学科のみ>>】				
	(対応科目なし)	GEN1401	心理学入門	廃止（開講せず）

変更点 ②

免許・資格課程、各種プログラムの変更

○初等教職課程

教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		最低修得単位数	左の科目区分等に対応する本学開設授業科目					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		コースナンバー	授業科目	幼	小	配当学年	備考
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の指導法	幼4(5) 小10(10)	EDP3200	○道徳の指導法	—	2	3	
	総合的な学習の時間の指導法		EDP3450	◇総合的な学習の時間の指導法	—	2	3	※1
	特別活動の指導法		EDP3402	◆特別活動・総合的な学習の時間の指導法	—	2	3	
	特別活動の指導法		EDP3201	◇特別活動の指導法	—	2	3	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		EDN2251	□教育の方法と技術	2	2	3	※2
	幼児理解の理論及び方法		EDN3202	▲教育方法学	1	1	3	
			EDP3403	△ICT活用教育	—	1	3	
			EDB3250	教育評価	2	2	3	
	生徒指導の理論及び方法		EDI1451	○幼児理解の理論と方法	2	—	1	
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	EDP3202	○生徒指導・進路指導	—	2	3			
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	EDN3400	○教育相談の理論と方法	2	2	3			

※1…◇もしくは◆から選択必修（◇：2020年度以前入学者が履修 / ◆：2021年度以降入学者が履修）

※2…幼稚園：□もしくは▲から1科目選択必修

小学校：□（1科目2単位）もしくは▲△（2科目2単位）から2単位選択必修

○中等教職課程

教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		最低修得単位数	左の科目区分等に対応する本学開設授業科目					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		コースナンバー	授業科目	中	高	配当学年	備考
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10(10) 高8(8)	TEA2803	○道徳の指導法（中等）	2	—	3	
	総合的な学習の時間の指導法		TEA2853	○特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	2	3	
	特別活動の指導法		TEA3850	△教育の方法及び技術	2	2	3	△もしくは▲から2単位選択必修
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		EDN3202	▲教育方法学	1	1	3	
			EDP3403	▲ICT活用教育	1	1	3	
	生徒指導の理論及び方法		TEA2855	○生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	2	3	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		TEA2851	○教育相談の理論及び方法	2	2	3	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法								

2021年度入学者適用

教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目（全学共通）

免許法施行規則に定める 科目区分	最低修得単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目		備 考
		授業科目	単位数	
日本国憲法	2	○憲法と人権	2	
体育	2	体育講義 体育実技 健康スポーツ演習	1 1 2	}
外国語コミュニケーション	2	日常の英会話 旅行の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話 ビジネス英会話 英語実践（4技能）Ⅰ（新設） 英語実践（4技能）Ⅱ（新設） Communication Skills Ⅰ Communication Skills Ⅱ Persuasive Communication Global English Seminar Public Speaking Debate	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2	} 2単位選択必修 } 英語英文学科に 適用
数理、データ活用及び人工知能 に関する科目	2	AIとデータサイエンス入門	2	}
情報機器の操作	2	情報演習Ⅰa 情報演習Ⅰb 情報演習Ⅱ 情報処理	1 1 1 2	} 2単位選択必修

学則等の変更点 (2020→2021年度)

変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

2017～2020年度入学生のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2021年度からの科目の新設・廃止があります。

- ・新設された選択科目のうち下表に掲げた科目（**新**）は、2017～2020年度入学生も履修することができます。
- ・必修科目などは、従来どおり変更前の科目名のまま（**読替**）となります。
- ・廃止される科目がいつまで開講されるかなどの「経過措置」、新旧の科目の対応の仕方などの情報は、下表に略称で表示しています（略称の意味については凡例を参照のこと）。

【「後継科目」について】

新旧の読替措置がない場合、新科目（後継科目）に対応する旧科目を既に修得済みであれば、その新科目は履修できません（履修する必要がありません）。

（凡例）

新＝科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

旧＝**新**（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替＝科目名が変更された科目について、**新**を履修すれば元の**旧**科目名称に読替えとなることを示す。

経過＝廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【新旧科目対応・経過措置早見表（2017～2020年度入学者のみ）】

新 2021年度からの科目（新科目）		旧 2020年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期等）
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【共通教育科目】				
	(対応科目なし)	GEH1251	日本の宗教	廃止（2021年度から）
GEN1401	心理学入門	GEH1400	●身近な心理学	読替 （2021年度から）
	(対応科目なし)	GES2101	こどもと子育ての生活環境学	廃止（教育センターが別に定める）
IDE1252	海外文化研修	GES1650	●海外研修（生活と社会）	読替 （2021年度から）
	(対応科目なし)	GEN1200	地球と宇宙の科学	廃止（2021年度から）
GEN1202	情報の科学と倫理	GEN1451	●情報科学入門	読替 （2021年度から）
	(対応科目なし)	GEN1550	環境学概論	廃止（2021年度から）
GBE1302	英語理解Ⅰ	GBE1300	●英語基礎Ⅰ	読替 （2021年度から）
GBE1303	英語表現Ⅰ	GBE1301	●英語総合Ⅰ	読替 （2021年度から）
GBE1352	英語理解Ⅱ	GBE1350	●英語基礎Ⅱ	読替 （2021年度から）
GBE1353	英語表現Ⅱ	GBE1351	●英語総合Ⅱ	読替 （2021年度から）
GBE2307	ビジネス英会話	GBE2302	●やさしいビジネス英会話	読替 （2022年度から）
GBE2308	英語リスニング	GBE2303	●英語リスニング初級	読替 （2022年度から）
	(対応科目なし)	GBE2353	英語リスニング中級	廃止（2022年度まで）
	(対応科目なし)	GBE2304	読むための英語	廃止（2021年度まで）
	(対応科目なし)	GBE3300	アカデミック英語	廃止（2021年度まで）
GBL2300	アカデミック・ライティング	GBL1450	●文章表現法	読替 （2022年度から）
GBL1401	情報演習Ⅰa	GBL1400	●情報演習Ⅰ	読替 （2021年度から）
GBL1402	情報演習Ⅰb	GBL1400	●情報演習Ⅰ	読替 （2021年度から）
GCE1102	キリスト教学	GCE1100	●キリスト教入門	読替 （2021年度から）
GCE2102	聖書とキリスト教	GCE2100	●聖書と文化	読替 （2022年度から）
GCP1550	短期インターンシップ		(対応科目なし)	新設（2021年度から）
	(対応科目なし)	GCP3500	ホスピタリティ京都	廃止（2021年度まで）

Ⅰ 2021年度からの科目（新科目）		Ⅱ 2020年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期等）
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【国際日本文化学科専門科目】				
	(対応科目なし)	CSA3400	情報科学	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	CSA2453	情報科学演習	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	CSA3900	応用プレゼンテーション演習	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	CSA1250	日本文化論	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	CSA2306	日本語表現	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	CSA2210	芸術への誘い	廃止（2023年度まで）
CSA2301	アラビア語の世界		(対応科目なし)	新設（2021年度から）
	(対応科目なし)	CSA1211	音楽鑑賞法	廃止（2023年度まで）
CSA4151	キリスト教音楽特講	CSA4121	●典礼音楽特講	読替（2022年度から）
CSA2157	キリスト教とことば	CSA2156	●キリスト教とラテン語Ⅰ	読替（2022年度から）
CSA3158	キリスト教文化	CSA3157	●キリスト教とラテン語Ⅱ	読替（2021年度から）
【現代人間学部共通】科目				
	(対応科目なし)	CHS1200	現代社会とこども	廃止（学部が別に定める）
	(対応科目なし)	CHS1100	現代社会と女性・家族	廃止（学部が別に定める）
	(対応科目なし)	CHS1500	現代社会と高齢者	廃止（学部が別に定める）
	(対応科目なし)	CHS1501	現代社会と病者・障がい者	廃止（学部が別に定める）
	(対応科目なし)	CHS3400	情報科学	廃止（2023年度まで）
【福祉生活デザイン専門科目】				
SLB1251	住居学概論（製図を含む）	SLB1201	●住居学概論	読替（2021年度から）
	(対応科目なし)	LDA3250	衣生活情報論	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	LDA2251	繊維材料学	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	LDA2254	京都生活論	廃止（2022年度まで）
	(対応科目なし)	LDA3400	消費者教育	廃止（2023年度まで）
SWA2206	高齢者福祉論	SWA2201	●老人福祉論	読替（2022年度から）
LDA3502	コミュニティ活動実践	SWA3500	●福祉コミュニティの実践	読替（2023年度から）
SWR4603	精神保健福祉特講	SWR4602	●社会福祉特講Ⅱ	読替（2024年度から）
【心理学科専門科目】				
PSB1453	心理学統計法	PSB1402	●心理学統計法Ⅰ	読替（開始年度は学部が別に定める）
	(対応科目なし)	PSA2253	無意識の心理学	廃止（学部が別に定める）
	(対応科目なし)	PSR3400	消費者教育	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	PSR3250	衣生活情報論	廃止（2023年度まで）
SWR4603	精神保健福祉特講	SWR4602	●社会福祉特講Ⅱ	読替（2024年度から）
【こども教育学科専門科目】				
	(対応科目なし)	EDN3603	教職専門ゼミナール	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	EDI2500	相談援助演習	廃止（履修規程附則第3項適用）
	(対応科目なし)	EDP3451	アクティブラーニングの指導法	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	EDP4400	学習デザイン論	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	EDP4600	小学校表現活動論	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	EDP3400	消費者教育	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	EDP1200	こども情報リテラシー	廃止（2023年度まで）
PSB1453	心理学統計法	EDR1402	心理学統計法Ⅰ	読替（開始年度は学部が別に定める）
	(対応科目なし)	EDR1452	心理学統計法Ⅱ	廃止（学部が別に定める）
	(対応科目なし)	EDR1451	基礎統計学	廃止（2021年度まで）

（備考）

- 印は、変更が適用された後に履修した場合の科目名（成績証明書・成績通知書等に記載される科目名）を示す。
- 新設科目の科目区分などの詳細は、各学部・学科、入学年度別の「受講科目一覧表」を参照のこと。

変更点②

免許・資格課程、各種プログラムの変更

「変更点①」による科目の新設・廃止に伴い、以下の免許・資格課程、各種プログラムの科目が一部変更となります。学生便覧の該当ページも併せて参照し、変更点を十分理解してください。

【2017年度以後入学者適用】

①初等教職課程（現代人間学部こども教育学科）（幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状）【一部抜粋】

科目	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等 各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数 (本学の最低単位数)	左の科目区分に対応する本学開設授業科目			備考
			授業科目	単位数		
				幼	小	
教科及び教職に関する科目	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	幼4 (6) 小10 (12)	○教育の方法と技術	2	2	
			教育評価	2	2	
	アクティブラーニングの指導法 (新設)	—	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	幼14 (10) 小2 (0)		アクティブラーニングの指導法 (削除)	—	2	
			学習デザイン論	—	2	
			初等教材開発論	—	2	
			小学校表現活動論	—	2	
			環境教育	2	2	
			情報教育	2	2	
			食と健康の教育	2	2	
			国際理解教育	2	2	
			介護等体験	—	1	
			(大学が独自に設定する科目以外の科目の余剰単位)			

④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（全学共通）

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目		備考					
		授業科目	単位数						
日本国憲法	2	○憲法と人権	2						
体育	2	体育講義	1	} 2単位選択必修					
		体育実技	1						
		健康スポーツ演習	2						
外国語コミュニケーション	2	日常の英会話	1	} 2単位選択必修					
		旅行の英会話	1						
		留学の英会話	1						
		おもてなしの英会話	1						
		やさしいビジネス英会話	1						
		英語実践(4技能)Ⅰ(新設)	1						
		英語実践(4技能)Ⅱ(新設)	1						
		Communication Skills I	1		} 英語英文学科に適用				
		Communication Skills II	1						
		Persuasive Communication	2						
Global English Seminar	2								
Public Speaking	2	Debate	2						
					情報演習Ⅰ	1	} 2単位選択必修		
								情報演習Ⅱ	1

学則等の変更点 (2019→2020年度)

変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

2018・2019年度入学生のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2020年度からの科目の新設・廃止があります。2017年度以前入学生のカリキュラムは変更ありません。2016年度以前入学生はP19～P23を参照してください。

- ・新設された選択科目のうち下表に掲げた科目（**罫**）は、2018・2019年度入学生も履修することができます。
- ・必修科目などは、従来どおり変更前の科目名のまま（**読替**）となります。
- ・廃止される科目がいつまで開講されるかなどの「経過措置」、新旧の科目の対応の仕方などの情報は、下表に略称で表示しています（略称の意味については凡例を参照のこと）。

【「後継科目」について】

新旧の読替措置がない場合、新科目（後継科目）に対応する旧科目を既に修得済みであれば、その新科目は履修できません（履修する必要がありません）。

（凡例）

罫=科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

罫=**罫**（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替=科目名が変更された科目について、**罫**を履修すれば元の**罫**科目名称に読替えとなることを示す。

経過=廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【新旧科目対応・経過措置早見表 (2018・2019年度入学者のみ)】

罫 2020年度からの科目 (新科目)		罫 2019年度までの科目 (旧科目)		備考 (開講する時期等)
コースナンバー	授業科目	コースナンバー	授業科目	
〔心理学科専門教育科目〕				
PSA 4601	心理実習		(対応科目なし)	新設
	(対応科目なし)	PSA 3652	心理実習 I	廃止 (開講せず)
	(対応科目なし)	PSA 4600	心理実習 II	廃止 (開講せず)

（備考）

1. ●印は、変更が適用された後に履修した場合の科目名（成績証明書・成績通知書等に記載される科目名）を示す。
2. 新設科目の科目区分などの詳細は、各学部・学科、入学年度別の「受講科目一覧表」を参照のこと。

変更点② 成績評価に関する確認についての変更

- (1) 授業科目の成績評価は、筆記・口述試験、論文、レポート、実験、実習、実技及び授業参加度などで行われる。
- (2) 授業科目の成績評価は、原則として半期毎に授業担当者から教務課に提出される。ただし、通年・及び夏期集中の科目は学年末に提出される。
- (3) 成績評点は、100点を満点とし、60点以上を合格とする。
- (4) 成績通知書の評価については、次の基準により換算して記載する。

成績評点等	評 価
90点以上	秀 (A)
80~89点	優 (B)
70~79点	良 (C)
60~69点	可 (D)
59点以下	不可
評価なし	/ (試験欠席、出席日数不足など)

ただし、学則第16条、第17条及び第17条の2の規定により本学以外での学修を認定した科目は「認」（英文は「T」）で示される。100点を満点とする評価が難しい科目は「合格」（英文は「P」）又は「不可」で示される。

なお、成績証明書については「不合格」及び「/」の科目は記載しない。

- (5) 履修した科目の修得単位及び成績は、原則として学期末に教務課から本人及び保証人の連名宛てに通知する。ただし、通年及び夏期集中の科目は原則として学年末に通知する。

- (6) 受取った成績について疑問があるときは、以下の場合に限り、「成績評価に関する確認書」（所定用紙）を教務課に提出することができる。

①成績の誤記入等、授業担当教員の誤りと思われるもの

②シラバス等により周知している成績評価の方法に沿っていないと思われるもの

成績通知後3週間以内（成績通知書に同封の書類に記載）に提出すること。ただし、卒業又は修了の判定の対象者については、これにかかわらず速やかに提出すること。教務課から教員へ問合せ、後日回答する。

変更点 ③

試験の実施要領・不正行為等についての変更

学期末の定期試験等

1 定期試験

- ① 実施方法：筆記試験 試験時間：標準75分
※定期試験を受験する時には学生証を机上に置くこと。
- ② 定期試験期間（授業期間終了後の16回目）に実施する。病気や事故等でやむを得ず定期試験を欠席し、追試験を希望する場合は、全て教務委員会で審査され受験の可否が決定される。
- ③ 試験の時間表は実施約1か月前に教務課掲示板に掲示する。
- ④ 定期試験は通常授業とは異なる時間表を編成して実施する。
- ⑤ 定期試験に関する注意事項
 - 1) 試験室では筆記用具及び指定されたもの以外は机上に置かないこと。下敷・ペンケースは使用しないこと。
 - 2) 授業担当者から特に指示のある場合を除き、持込自由の有無にかかわらず、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末など外部と通信のできる機器、ベル付き時計、計算・翻訳機能をもつ時計、電卓・記憶装置のある機器、その他の電子機器類は、電源を切り鞆に入れるなど、手の届かない場所に置くこと。
 - 3) 監督者の指示どおり着席すること。
 - 4) 監督者の指示があるまで試験用紙は裏向きのままにし、触れないこと。
 - 5) 試験開始の合図で解答を始める。印刷不鮮明など読みにくい文字があった時のみ監督者に質問できる。
 - 6) 時間を厳守し、遅刻しないようにすること。
試験開始後15分以内の遅刻のみ入室を許可されるが、終了時は他の学生と同じ時間で試験を打ち切ることを原則とし、延長は認められない。
 - 7) 試験開始後に試験室外に出た場合、原則として再入室は認められない。また追試験の対象とならない。
 - 8) 試験開始後30分が経過したら退室してよい。ただし、試験によっては退室時間を変更することがある。
退室の時は、原則として答案用紙を教卓など指定された場所に提出し、静かに退室すること。
退室後、廊下その他試験室の近くで話をしないこと。
 - 9) 試験の際は、学生証を机上に置いて受験すること。学生証を忘れた場合は学生課で仮学生証の発行を受けること。

2 レポート

【レポート作成にあたっての注意事項】

他人の著作物を自分の著作物の中に取り込む場合、すなわち引用を行う場合、一般的には、以下の事項に注意すること。

- (1) 他人の著作物を引用する必然性があること。
- (2) かぎ括弧をつけるなど、自分の著作物と引用部分とが区別されていること。
- (3) 自分の著作物と引用する著作物との主従関係が明確であること（自分の著作物が主体）。
- (4) 出所の明示がなされていること。（第48条）

（文化庁「著作物が自由に使える場合（注5）」http://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/chosakubutsu_jiyu.html）

正しい「引用」ができていない場合、「盗用」「剽窃」として不正行為とみなされる。試験での不正行為と同様、原則としてその者の当該学期における履修科目の成績評価は全て無効、教育実習と教職実践演習は履修不可となるので、十分に注意すること。また、盗用・剽窃等により著作権を侵害した場合、刑事上の処罰（著作権、出版権、著作隣接権の侵害の場合→10年以下の懲役又は1000万円以下の罰金。著作者人格権、実演家人格権の侵害など→5年以下の懲役又は500万円以下の罰金）だけでなく、民事上の損害賠償請求をされることがある。

レポートのうち教務課で取扱うものの提出に関しては、以下の点に注意すること。指示どおりにしていないレポートは原則として受理できない。

【教務課に提出するもの】

- 1) 本人が、教務課窓口へ提出すること。（本人以外からの提出物は受理しない。）
- 2) 提出物には、学籍番号・氏名等指示された事柄を記入した表紙を必ず添付し、ホッチキスでしっかりとめること。（教務課でのホッチキス貸出はしない。）
- 3) 提出した表紙に誤記入、未記入があった場合は、受理しない。
- 4) 提出期間・締切時間を厳守すること。提出期間外・締切時間後はいかなる場合も受理しない。また、期間内であつても一度提出したレポートの差替、訂正等には応じない。
- 5) 郵送等による提出は認めない。
- 6) 提出後、受領印がある本人控えは、各自で保管すること。

3 その他

授業時間中に行われる「確認テスト」や「まとめ」などは定期試験とは異なるため、次の点に注意すること。

- 1) 実施方法その他については、全て授業担当者の指示に従うこと。
- 2) 欠席した場合、追試験に相当する措置の有無、診断書・事故証明書等の必要書類その他の取扱いについては、全て授業担当者の判断に委ねられる。

追試験

- (1) 病気や事故のため定期試験（定期試験期間に実施される試験）を欠席し、追試験の受験を希望する者は、以下の手順に従って手続きをすること。受験の可否は教務委員会で審査の上、決定する。試験時間の見誤りや思い違い、単なる遅刻、手続き不備などの場合は認められない。

Step. 1

- 原則として、試験当日中に欠席とその理由を教務課に連絡する。定期試験を受験できないことがあらかじめわかっている場合、試験日の2週間前までに教務課に「追試験伺」を提出すれば、1週間後に受験の可否を回答する。
- 病気欠席の場合には、欠席した当日の日付の親族以外の医師による診断書を必要とし、事故による欠席の場合は公的な証明書類が必要である。診断書等のない場合は、追試験を受験できないことがある。
- 後日すみやかに（4年次生の後期試験においては極力翌日に）教務課の窓口において追試験の手続きをとる。手続きは本人が行うことを原則とするが、事情により代理人に依頼してもよい。

Step. 2 手続きに必要なもの

- 追試験願：追試験願・欠席の事由説明書（大学所定の用紙に欠席日時、科目名、担当教員名等を記入した上で、定期試験を欠席した理由と、追試験を希望する理由を、わかりやすい文章で具体的に記入し、末尾に本人が自筆署名し、押印する。）
- 証明可能な書類：医師の診断書（原則として、試験欠席当日の日付のもので、親族以外の医師によるもの。）もしくは、事由を証明する公的な資料。上記の書類は原則として必要であるが、特別な理由によりどうしても取得できない場合は、その理由を事由説明書で詳しく述べた上で末尾に保証人又は保護者が自筆署名、押印し、提出する。（本人とは別の印鑑を使用すること。）
診断書等の提出がない場合、追試験は認められない場合がある。
- 申請書：追試験料は一科目につき1,000円、5科目以上は一律5,000円とする。学生ロビー設置の証明書自動発行機から必要枚数（受験科目数）分入金のうえ出力すること。ただし、忌引・法定伝染病・教育実習等による欠席の場合は徴収しない。
なお、試験当日に郷里から大学に向かう途中など、通常の通学経路以外の交通機関の事故等による遅延は原則として考慮されない。

Step. 3

- 受験を許可された者は、指定された日時に受験すること。
- (2) 追試験においては本試験と異なった方法（実技試験、レポートなど）で行われることがある。
 - (3) 追試験の実施にあたっては、「学期末の定期試験等」に準じる。
 - (4) いかなる理由があっても追試験の追試験はない。

再試験

- (1) 卒業判定を受ける年度の成績において、卒業条件の不足と資格（社会福祉士・精神保健福祉士・二級建築士及び保育士（2016年度以前入学者のみ）に限る）の取得条件の不足の合計が4単位以内である者には、卒業判定教授会の決定により、当該年度に不合格となった科目の中から、4単位を限度として再試験を実施することができる。ただし、卒業研究・論文の不合格及び「評価なし」とされた科目は再試験の対象とならない。
- (2) 再試験の受験を許可された者は各学科から通知する。
- (3) 再試験においては本試験と異なった方法（実技試験、レポートなど）で行われることがある。
- (4) 再試験の実施にあたっては「学期末の定期試験等」に準じる。
- (5) いかなる理由があっても再試験の追試験はない。
- (6) 再試験科目の成績の評点は最高60点とし、この得点を得た場合を合格とする。
- (7) 再試験料は1科目2,000円とする。

不正行為

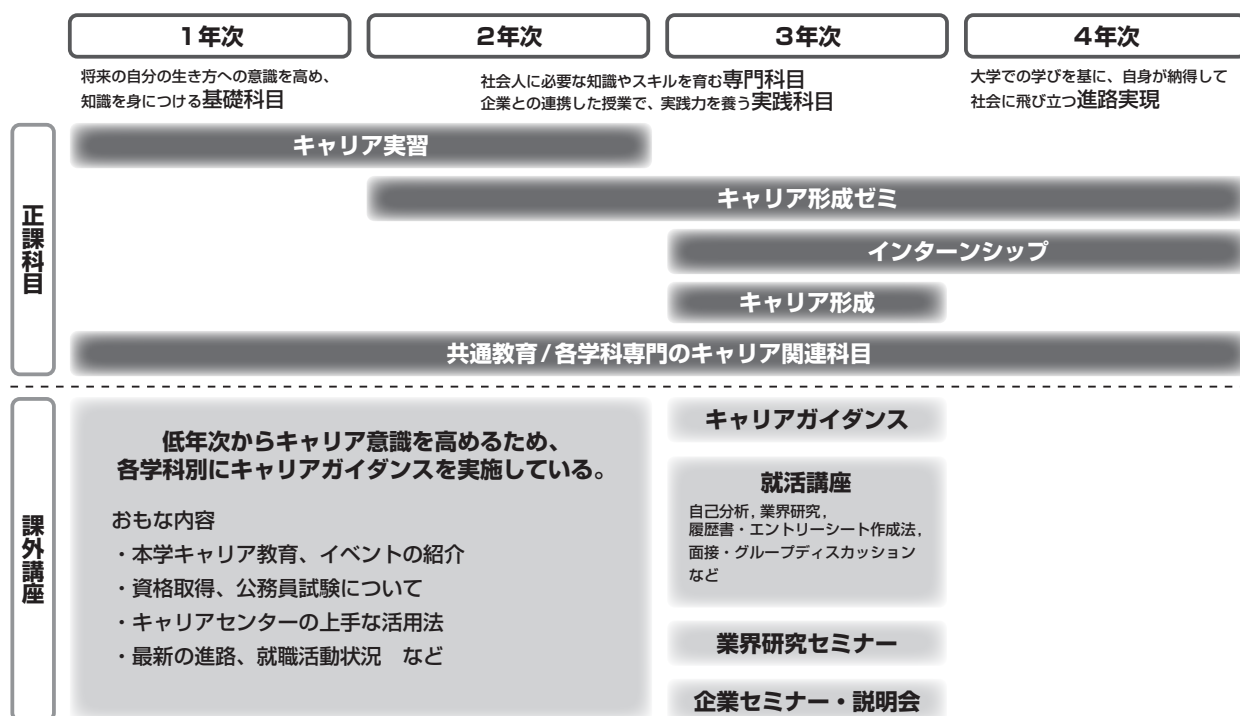
- (1) いわゆるカンニングや替え玉受験、論文・レポート等における盗用・剽窃などの不正行為を行った場合は、原則としてその者の当該学期における履修科目の成績評価は全て無効とする。
- (2) レポートに他人の著作物を無断で使用し、正しい引用がなされていない盗用・剽窃があった場合も不正行為とみなし、(1)と同様に取り扱う。
- (3) レポートの内容等を他人に提供し、提供された側がそれを使用した場合、提供した側も不正行為を助長したことになり、不正行為を行ったとみなし、(1)と同様に取り扱う。
- (4) これらの科目は次学期以降に再履修することができる。ただし、教育実習及び教職実践演習の履修は以後認めない。
- (5) 不正行為があった場合は、学内に公示する。また、学則第48条に定める懲戒の対象となることがある。

キャリア教育について

本学では、「キャリア」という言葉を「職業の経歴」という意味に限定せず「人生」ひいては「生き方」といった意味で捉えている。人生100年時代と言われる中で学生がどのような人生を送りたいのか、どのような選択を行うべきかを主体的に考える「ライフプランニング」を構築するため、就業力を自己開発する実践キャリア教育に取り組んでいる。

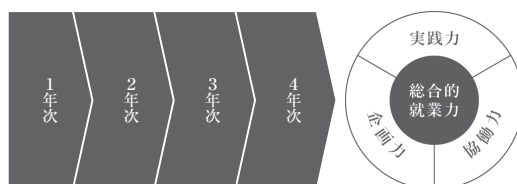
1. キャリア形成支援

初年次から卒業まで学生のキャリア発達にあわせて学部・学科・学年ごとに段階的なライフキャリア形成科目を開講している。必要な知識を身につけ、行動・実践することで力に変え、自身が納得して進路実現できるよう支援している。



2. キャリア教育の達成目標

社会で必要とされる「社会人基礎力」をはじめ、柔軟な思考力や問題解決力を身につけるプログラムを設計している。また、京都ノートルダム女子大学の特性を生かし、女性ならではの課題や可能性を考慮したキャリアプランニング力を低年次から受講可能な複数のライフキャリア形成科目を通じて高めている。



低年次よりライフプランニングへの意識を高め、企画力、協働力、実践力を身に付ける。最終的には卒業時に総合的な就業力を身に付けることを目標としている。

3. PBL型「キャリア形成ゼミ」

理論と実践を結びつけた教育の一環として展開している。企業や地域・団体から提示された課題の解決やプランの立案など、現実の課題に取り組む授業（ゼミ）を複数実施している。また、グループで企画提案からプレゼンテーションまで取り組むことにより、協調性など社会で必要な多くのスキルを培う。

2026年度

履修登録の手引き

履修登録の手引き

授業科目・単位

本学を卒業するためには、学則に定められた授業科目（以下「科目」）を履修し単位を修得しなければなりません。卒業のために必要な単位（以下「卒業要件単位」、「要卒業単位」ともいう）数は合計124単位以上ですが、どの科目の単位でもよいのではなく、学科・専攻ごとに履修しなければならない科目が細かく決まっています。

科目の履修

「履修」とは、単に登録した科目の授業に出席するだけでなく、予習・復習などを含め、各自が主体的に学修することをいいます。その科目の試験（レポートなど筆記試験以外のものも含む。）を受け、これに合格すれば単位を修得することができます。必修の科目が不合格になった場合は、同じ科目を再度履修しなければなりません（これを「再履修」といいます）。詳細については「学生便覧」（以下「便覧」）、「シラバス」をよく読んでください。

履修登録

年度の始めに1年間（前期・後期とも）に履修する科目を届け出る手続きが必要です。これを「履修登録」（または単に「登録」といいます。登録していない科目は授業や試験を受けても単位が与えられません。

卒業までの履修計画

科目の履修は、4年間を見通し、**配当学年**に従って計画的に行うことが大切です。変則的な履修計画を立てると、不都合が起こって必要な科目が履修できなくなることがあります。自分が卒業までに履修しなければならない科目について、よく理解しておいてください。

また、科目の中には、他の科目の単位が修得済みであること（このような他の科目を「**前提科目**」といいます）や、その他の履修条件を設けているものがあるので、**履修科目表の備考欄**に注意してください。

1年間の履修単位

無理なく学修を進めるため、自分のペースも考えながら年間合計40単位前後を目安として登録し、最大でも各学部の上限単位数までとしてください（他大学等単位互換科目、介護等体験、および長期休業期間中の集中授業は含めません）。詳細については、便覧、ND手帳の該当ページをよく読んでください。多く登録し過ぎると、十分な学修時間が確保できずGPAが下がる可能性が高くなります。

年間履修計画

ウェブサイトで公開されている時間割から、本年度に履修する科目を選びます。**クラス**（大文字のA、Bなど）が指定されている科目の場合は、指示に従ってください。

免許・資格取得のための科目については、**便覧の該当ページ**を熟読し、計画的に履修してください。それぞれの資格の**説明会**などには必ず出席してください。

登録手続きの手順

登録手続きのスケジュールは次のとおりです。それぞれの手順の詳細なことについては、**便覧・シラバス**のほか、この冊子の該当ページをよく読んでください。

※説明会やエントリー期間の日程関係はすべて manaba 「2026 年度履修登録確認」で確認してください。変更が生じた場合、随時更新します。
<https://manaba.notredame.ac.jp/ct/login>

STEP 1
時間割表(履修計画書)作成

3月 UNIPANDA 成績照会

1 成績・新年度関係書類を確認する

成績結果 (UNIPANDA) と履修登録期間及び説明会等確認します。

2 履修計画を立て、自分の時間割を作る

ウェブサイトで公開されているシラバス・時間割等を確認し、履修計画をたてます。
☆定員設定科目(抽選)までに「時間割表(履修計画書)」を作成しておくこと。

抽選エントリーや履修登録は、下記期間内の都合のよい日に各自で作業してください。学内・自宅パソコン等から UNIPANDA で作業可能です。

STEP 2
定員設定科目エントリー・履修登録

3月 16日(月)～18日(水) 17:00 まで

3 履修登録関係資料を閲覧する

4 定員設定科目【第1次募集:抽選】のエントリーを行う

※希望者のみ

3月 23日(月)～27日(金) 15:00 まで

5 履修登録/定員設定科目【第1次募集:先着】の登録を行う

※4で抽選エントリーした場合、結果を確認

※履修登録期間内に学科別履修相談会が実施されるので必要に応じて参加すること。
原則として、2026 年度に履修を希望する科目はこの期間に必ず登録すること。

6 書類を完成させ、manaba に提出する

STEP 3
登録修正・確認

4月 6日(月)～14日(火) 13:00 まで


7 履修登録の変更修正/定員設定科目【第2次募集:先着】の登録

※希望者のみ

8 書類 (STEP 2 の 7 で完成させたもの) を修正し、manaba に提出する

9 登録確認

UNIPANDA 上で最終の確認をします。
4月 15日(水) 以降

(問題なければ)
 **登録完了**
※記入した書類は各自で保管しておくこと

定員設定科目について

定員設定科目は人数制限のある科目、クラス分けをする科目です。第1次募集は【抽選】と【先着】があります。第2次募集は、第1次募集(抽選、先着とも)で空きのある科目を【先着】で登録できます。対象科目は、「定員設定科目一覧表」で確認します。(教務課・学事課サイトまたは manaba 「2026 年度履修登録関係」に掲載)

STEP 1

時間割表（履修計画書）作成

1 成績・新年度関係書類を確認する

①成績結果を確認する

3月中旬より、UNIPANDA「成績照会」で後期までの成績が公開されます。

②新年度関係書類を確認する

履修登録期間と説明会、4月オリエンテーション日程等書類を以下に掲載します。

manaba「2026年度履修登録関係」または教務課・学事課サイト

※説明会や履修登録・定員設定科目等の情報はすべて上記で確認してください。変更が生じた場合、随時更新します。

2 履修計画を立て、自分の時間割を作る

manaba等で公開されている時間割を確認のうえ、シラバスで授業内容を参照し、配当学年や前提科目（「登録用語の基礎知識」参照）その他の履修条件、クラス指定などを確認しながら、卒業要件や資格の要件を満たすよう科目を選択し、履修計画を立てます。（「時間割表（履修計画書）」を作成する。）

※集中授業（別途授業日程：manaba「2026年度履修登録関係」参照）は、他の授業と日程が重ならないように注意してください。

○各学科の履修相談や資格のオリエンテーションについて

manabaやUNIPANDA等のお知らせで連絡します。

履修計画についての相談は各学科の指導担当教員・ゼミ担当教員等へ、履修登録についての相談は教務課・学事課で受け付けます。（教務課・学事課の受付時間：月～金 8:45～17:15、授業のある日は18:15まで。）

.....

■登録にあたって注意すべき科目

〔海外研修など〕

WEB登録はできません。履修希望者は、便覧・シラバスの該当ページを読み、各科目の説明会・事前指導*に必ず出席してください。

○海外研修説明会＝4月10日（金）・10月7日（水）

※別途 UNIPANDA にて提示予定

○「インターンシップ」・「キャリア実習」説明会＝4月15日（水）4講時

※大学コンソーシアム京都「産学連携教育プログラム」の説明も含む

○「キャリア形成ゼミ」受講生募集説明会＝5月20日（水）4講時

〔他学科等科目（便覧記載☆印の科目）〕

卒業要件単位に含めることができます。含めることができる上限単位数は入学年度によって異なるので便覧で確認すること。

なお、☆印以外の他学科等科目の履修を希望する場合は別に申請手続きが必要となるので、教務課に申し出ること。

【申請期限：3月31日（火）17:00】

〔姉妹大学・協定大学で修得した単位の認定〕

本学が交流協定を締結している大学で修得した単位は、審査の上、本学の科目の単位として認定されます（留学等については便覧を参照のこと）。ただし、コンソーシアムなどによる単位も含めて、2024年度以前入学者は合計30単位、2025年度入学者は60単位が上限です。なお、放送大学・大学コンソーシアム京都科目は卒業年次後期は履修できません。

⇒便覧 及び <http://www.consortium.or.jp/>（3月下旬頃公開）参照

STEP 2

定員設定科目エントリー・履修登録

3 履修登録関係資料を閲覧する

関係書類を以下に掲載します。

manaba「2026年度履修登録関係」または教務課・学事課サイト

※説明会や履修登録・定員設定科目等の情報はすべて上記で確認してください。変更が生じた場合、随時更新します。

4 定員設定科目【第1次募集：抽選】のエントリーを行う※希望者のみ

3月16日（月）9：00～18日（水）17：00

定員設定科目を確認し、履修希望科目が抽選の場合、UNIPANDAの「抽選科目希望登録」からエントリーします。

<定員設定科目とは>

定員設定科目は、人数制限のある科目、クラス分けをする科目です。対象科目は「定員設定科目一覧表」に掲載します。(manaba はまたは教務課・学事課サイト参照)。

第1次募集は【抽選】と【先着】があります。【抽選】はUNIPANDAの【抽選科目希望登録】からエントリーします。【先着】はUNIPANDAの【履修登録】から、他の科目を登録するのと同様に科目を登録します。定員に達した科目は登録できなくなりますが、一旦定員に達してもキャンセルが出た場合、登録が可能となります。

【第1次募集：抽選】では、受講者決定は以下のいずれかの方式で厳正に抽選を行います。(希望者多数の場合は、優先順位に従い抽選)

A方式＝(1)4年→(2)3年→(3)2年→(4)1年

B方式＝(1)4年→(2)資格希望者→(3)それ以外

注意事項：

- * B方式は、(2)(3)内では上級生優先です。資格希望者は「希望資格登録」を行わなければ、優先順位は上位になりません。
- * クラス指定のある必修科目と同一曜日講時の科目にエントリーした場合、必修科目が優先されます。
- * 抽選のエントリーは特に、履修計画を十分練ってから注意してエントリーしてください。登録可となった科目の受講を途中で放棄したり、履修を中止したりすることは、他の履修希望者の機会を奪うことでもあります。

抽選結果について：

【第1次募集：抽選】の結果は、3月23日以降、UNIPANDAの【履修登録】画面を確認します。表示されていれば「当選」、表示されていなければ「落選」です。

当選した科目を、履修登録画面で取り消すことは可能ですが、取消後、履修登録期間中に再登録することは出来ません。誤って取り消してしまった定員設定科目は、4月の履修登録変更期間の2次募集で空きがあれば、先着順で登録できます。ただし同科目が2次募集対象科目になる保証はありません。

5 履修登録／定員設定科目【第1次募集：先着】の登録を行う

3月23日（月）9：00～27日（金）15：00

①（希望者のみ）資格登録を行う

資格取得を希望する場合は、WEB履修登録時、希望の資格を登録してください。特に4年次生は希望資格がある場合、必ず登録してください。修了証が発行される資格の場合、この登録がなければ、修了証を受けとることができません。

②抽選結果を確認する ※4のエントリー者のみ

③UNIPANDAの【履修登録】から科目を登録 2026年度履修を希望する科目はこの期間に登録すること

上記期間中、登録日は特に指定しません。期間内に学内で登録を行う場合、情報演習室1・2を利用できます。前提科目(A)が設定されている科目(B)は、その前提科目Aを履修または修得していなければ履修できません。前期に前提科目Aを登録すれば後期に科目Bを登録することはできますが、前提科目Aが不合格だった場合、科目Bの登録は無効になり削除されます。

④すべての科目が登録できたら「最終確認」へボタンを押し、登録内容を確認

⑤「提出」ボタンを押し、登録を完了させる

「履修内容にエラーがありません」と表示されたら、「提出ボタン」を押し、登録を完了させます。

「履修内容にエラーがあります」と表示された場合、エラーを修正しないと完了できません。

「エラーがありません」と表示後、「提出」ボタンを押して初めて履修登録が完了します。
 「提出」ボタンを押し忘れることのないよう、十分注意してください。
 「提出」ボタンを押さず、登録が完了していない科目は、履修が認められないことがあります。

「提出」ボタンを押した後でも、期間内であれば、何度でもやり直すことが出来ますが、最後に「提出」ボタンの押し忘れに注意してください。

【学科別履修相談日】

履修登録で相談がある場合、また、新2年次生については、各学科以下の指定日に参加すること。

◀履修相談日▶

	3月			4月		
英語英文学科	3月27日（金）	13:30～15:00	E401	4月6日（月）	13:30～15:30	E403
国際日本文化学科	3月26日（木）	10:00～12:00	E401	4月6日（月）	10:00～12:00	E401
生活環境学科	3月27日（金）	13:00～15:00	E402	4月6日（月）	14:00～16:00	E401
心理学科	3月26日（木）	13:00～15:00	E402	4月7日（火）	14:30～16:30	E401
こども教育学科	3月26日（木）	11:00～12:00 13:30～15:30	E403 E403	4月6日（月）	13:30～15:30	E402
社会情報学環	3月27日（金）	10:00～12:00	E403	4月7日（火）	13:00～15:00	E402
女性キャリアデザイン学環				4月6日（月）	13:00～15:00	E404

◀新2年次オリエンテーション▶：2年次生は全員参加すること

	3月			4月		
英語英文学科	3月27日（金）	11:15～12:45	E401			
国際日本文化学科						
生活環境学科						
心理学科				4月7日（火）	13:00～14:30	E401
こども教育学科	3月26日（木）	10:30 集合	E403			
社会情報学環				4月7日（火）	10:00～11:00	E402
女性キャリアデザイン学環	3月27日（金）	10:00～12:00	E404			

※2年次生オリエンテーションは全員参加すること。

6 書類を完成させ、manabaに提出する

①以下の書類を完成させる（p.35～36「登録書類作成の要領」を参照のこと）

- (1) 受講科目一覧表
 - (2) 時間割表（履修計画書）（この手引きの巻末に控えを取ること）
 - (3) 各資格単位修得確認表
- ※(1)(3)は「教務課・学事課サイト」よりダウンロードできます。

②書類を提出する

「学生時間割表」（UNIPANDA から出力した PDF ファイルまたは画面の写真）、または「時間割表（履修計画書）」（写真）を以下へ提出する。

提出先：manaba「2026年度履修登録関係」のレポート「履修計画書の提出」

※「時間割表（履修計画書）」を含め、他書類は各自保管すること。

<学生時間割表の確認方法>

UNIPANDA メニュー > 教務 > 時間割：学生時間割表

※ PDFファイルで保存または画面の写真を保存する。

■登録書類作成の要領

〔受講科目一覧表〕

- 1 これまでに修得済みの単位を「既得単位」欄に記入する
 - 2 本年度に履修する科目を「本年履修予定単位」欄に記入する
 - 3 1と2の単位を合計する
- ※資格単位修得確認表も同様の考え方で記入してください。

〔時間割表（履修計画書）〕

- 1 学籍番号、学科、学年、氏名を記入する
- 2 履修する科目の「科目名」「担当者」を記入する
前期科目は「前期」の表に、後期科目は「後期」の表に、それぞれ記入してください。通年科目は「前期」「後期」の両方の表に記入してください。定員設定科目は赤の○で囲んでください。

✔ チェック ✔

- 学科・学籍番号・氏名は正しく記入してありますか？
- 必修科目はすべて記入してありますか？
- 同じ講時に通年と前期（または後期）の科目を二重に記入していませんか？
- エントリーした定員設定科目は赤の○で囲んでありますか？
- 履修資格のない（前提科目を履修していない、配当学年に達していない）科目を書いていませんか？
- クラスは指定どおりですか？
- クラス分けのある同じ科目を2つ以上書いていませんか？
- 「受講科目一覧」の計算は合っていますか？

登録書類の記入例

(1) 受講科目一覧表

【区分】 入学年度の学生便覧で確認する

【本年履修予定単位】 2026 年度に履修する単位数を記入

- 例) ・ 共通教育科目 → 教養科目 → 人間と文化
- ・ 英語英文学科専門的教育科目 → 専門基礎科目 等

【既得単位】 2025 年度までに修得した単位数を記入

受講科目一覧表

※卒業要件単位数は学生便覧やUNIPANDAの単位修得状況で確認しましょう。
 ※学科・コースと入学年度を選択すると該当の科目等が表示されます。(ただし福祉生活デザイン学科はコース表示はありません)

学科・コース		英語英文学科 英語英文学科コース		入学年度		2023	
区分	科目コード	成績通知記載科目名	単位	配当学年 ※最低学年のみ記載	既得 単位	本年履修 予定単位	
【人間と文化】	GEH1250	日本文学	2	1	2	2	
	GEH1200	外国文学	2	1	2		
	GEH1201	日本近現代史	2	1			
	GEH1202	東アジア近現代史	2	1			
	GEH1252	ヨーロッパ近現代史	2	1			
	GEH1150	歴史の中の女性	2	1			
	GEH1253	文化人類学	2	1			
	GEH1254	哲学入門	2	1			
【生活と社会】	GES1200	暮らしの法律学	2	1		2	
	GES1250	憲法と人権	2	1			
	GES1251	暮らしの経済学	2	1			
	GES1201	国際関係論入門	2	1			
	GES1202	社会学概論	2	1			
	GES1150	ジェンダー論	2	1			
	GES1500	ボランティア概論	2	1	2		
【人間と自然】	GEN1400	身近な自然科学	2	1		2	
	GEN1450	暮らしの統計学	2	1	2		
	GEN1201	身近な医学	2	1			
	GEN1150	生命倫理	2	1			
	GEN1401	心理学入門	2	1			
	GEN1202	情報の科学と倫理	2	1			
	GEN2450	A I とデータサイエンス入門	2	2			
【基礎科目・基盤科目 必修】	GCE1102	キリスト教学	2	1	2		
	GCE1103	キリスト教音楽概論	2	1	2		

見本

(2) 時間割表 (履修計画書)

提出用

2024年度 時間割表 (履修計画書) 学籍番号 20230001 在籍学科 英語英文学科 学年 1 氏名 北山 杉子

科目名	単位数	科目名	単位数

※ 異校取得を特記する人のみ異校名を記入する。

① 中学校一級教員免許(英語)	②
③	④
⑤	⑥

< 前期 >

曜日	月	火	水	木	金
開校	科目名 担当者	科目名 担当者	科目名 担当者	科目名 担当者	科目名 担当者
1		Reading IA Daniel Pearce 先生	Listening IA York weatherford 先生		writing IA Steven Herder 先生
2	Speaking IA				ノートルダム学日
4	英語英文学基礎演習 IA 小山 哲春 先生	英語キャリア戦略 須川 先生		キリスト教入門A 中里 先生	
5					

定員設定科目には赤の ○ をつけること 通年科目は < 後期 > にも記入すること

< 後期 >

曜日	月	火	水	木	金
開校	科目名 担当者	科目名 担当者	科目名 担当者	科目名 担当者	科目名 担当者
1					
5					

2016年度以前入学者用

登録単位数	前期	後期	年間	上限に達し ない単位数1

2017年度以後入学者用

登録単位数	前期	後期	年間	上限に達し ない単位数1

* 1 遊学単位以外の単位については、卒業要件外の単位科目等を含めない。
 ※1 特定期間、学期17単位及び17単位の範囲により本学以外での学修を修得する科目、長期休業期間に実施される集中科目の単位及び特別選択科目

*卒業要件外の科目等を含めない。
 ※1 卒業のために必要な単位以外の単位、学期17単位及び17単位の範囲により本学以外での学修を修得する科目、長期休業期間に実施される集中科目の単位及び特別選択科目等通常の単位以外に履修費を要しない授業科目

STEP 3

登録修正・確認

7 履修登録の変更修正／定員設定科目【第2次募集：先着】の登録

次の場合、以下の期間に登録修正を行います。

- ・履修登録の変更・修正を行う場合
- ・定員設定科目【第2次募集】の科目を登録する場合

前期＝4月6日（月）9:00～14日（火）13:00

後期＝9月28日（月）～10月2日（金）17:00

※登録を修正する必要が生じた場合は、取消・追加できます。ただし、追加した授業科目について、この期間に欠席した分が出席扱いになるわけではありません。

※通年科目を、後期履修変更期間に取消・追加することはできません。

<定員設定科目【第2次募集】について>

第1次募集（抽選・先着とも）で空きがある科目は、先着で登録できます。UNIPANDAの「履修登録」画面から、他の授業科目を登録するのと同様に登録してください。ただし、この期間中に定員に達した授業科目は登録できなくなります。一旦定員に達した科目でも、キャンセルができた場合、登録が可能となります。

8 書類（STEP2の6で完成させたもの）を修正し、manabaに提出する※必要な人のみ

①以下の書類を修正する

- (1) 受講科目一覧表
- (2) 時間割表（履修計画書）（この手引きの巻末に控えを取る）
- (3) 各資格単位修得確認表

②書類を提出する

「学生時間割表」（UNIPANDAから出力したPDFファイルまたは画面の写真）、または「時間割表（履修計画書）」（写真）を以下へ提出する。

提出先：manaba「2026年度履修登録関係」のレポート「履修計画書の提出」

※「時間割表（履修計画書）」を含め、他書類は各自保管すること。

9 登録確認

下記の期間にUNIPANDAの【学生時間割表】で登録内容が間違いないことを確認する。

前期＝4月15日（水）以降、後期＝10月上旬頃

すべての確認が済んだら



登録に使用した書類は大切に保管してください。

.....

正誤表

(別途 manaba 「2026 年度履修登録関係」 等でお知らせします)

※必ず訂正をしてください。

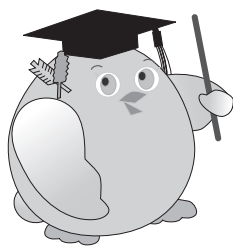
集中講義日程

(別途 manaba 「2026 年度履修登録関係」 や教務課・学事課サイト等でお知らせします)

※他の授業と日程が重ならないよう十分注意してください。

登録用語の基礎知識

便覧や手引きを読んだりして



と思ったら・・・

▶▶▶ とりあえずこのページを読んでみてください

配当学年【ハイトウガクネン】

その科目を履修する標準的な学年のこと。配当学年が自分の学年より上の科目は履修できません。例えば「2・3年次」配当の科目は1年次では履修できず、2年次か3年次に履修します（2・3年次で履修できなかった場合は4年次に履修できます）。

前提科目【ゼンテイカモク】

ある科目を履修するための資格*として先に履修（単位修得）しておくことが条件となっている科目のこと。履修科目表の備考欄に **前提科目** マークで示されています。例えば「〇〇Ⅱ」の備考欄に「**前提科目** 〇〇Ⅰ」とあれば、ⅡはⅠの単位を修得した人しか履修できません。WEB登録しても「エラー」となりますので注意してください。ⅠがⅡの前提科目である場合、Ⅰを前期に登録していれば後期にはⅡを登録することができますが、Ⅰが不合格だった場合はⅡの登録は「エラー」として無効になります。

（注※）ある科目を履修するための資格＝「履修科目表」の項参照

履修科目表【リシュウカモクヒョウ】

履修すべき科目が載っている表で、「学生便覧」にあります。ある科目を履修するためにクリアしていなければならない資格（「前提科目」もその1つです。履修資格には、ほかにも例えば「TOEIC500点以上」などがあります）は、この表の備考欄に書かれています。前提科目以外は登録エラーには関係しませんが、これらの資格がある人を対象に授業が行われますので、原則として従うようにしてください。

定員設定科目【テイインセツテイカモク】 ※抽選の場合

人数制限やクラス分けのため、いったんエントリーした後で登録の可否が決定される科目。第1次募集で履修希望者が定員より多い場合には抽選となります（上級生が優先されます）。当選しなかった人は登録できませんので、次の年度以降に履修してください。当選した科目の受講を途中で放棄することは、他の履修希望者の機会を奪うことでもあるので、シラバスで内容を十分検討してからエントリーしてください。

クラス指定【クラスシテイ】

2つ以上のクラスに分かれている科目を受講するときに、クラスが指定されること。クラス指定のない科目は自分で好きなクラスを選ぶことができますが、登録できるのは1クラスだけです。例えば人間学Aを登録した人は、人間学Bは登録できません。

オフィスアワー【Office hour】

先生が研究室などに在室している時間帯。授業についての質問や履修計画の立て方など、聞きたいことがあればこの時間を有効に活用して相談しましょう。

提出用

学籍番号	学籍	学年	氏名
------	----	----	----

--	--	--	--

年度 時間割表 (履修計画書)

	科目名 担当者	単位数	科目名 担当者	単位数
集中 授業等				

※ 資格取得を希望する人のみ資格名を記入する。

取得希望 資格名	①	④	⑥

< 前期 >

曜日	月		火		水		木		金	
	科目名 担当者	単位数	科目名 担当者	単位数	科目名 担当者	単位数	科目名 担当者	単位数	科目名 担当者	単位数
講時										
1										
2										
3										
4										
5										

＜後期＞

曜日	月		火		水		木		金	
	科目名 担当者	単位数	科目名 担当者	単位数	科目名 担当者	単位数	科目名 担当者	単位数	科目名 担当者	単位数
1										
2										
3										
4										
5										

2017年度～2020年度入学者用

登録単位数	前期	後期	年間	上限に含まれない単位※1
上限単位数				
登録単位数				

*卒業要件以外の科目等を含めない。

※1 卒業のために必要な単位以外の単位、学則第17条及び第17条の2の規定により本学以外での学修を認定する科目、長期休業期間に実施される集中科目の単位及び海外研修等通常の時期以外に履修登録できない授業科目

2021年度以後入学者用

登録単位数	前期	後期	年間	上限に含まれない単位※1
上限単位数				
登録単位数				

*卒業要件以外の科目等を含む。

※1 卒業のために必要な単位以外の単位、学則第17条及び第17条の2の規定により本学以外での学修を認定する科目、長期休業期間に実施される集中科目の単位及び海外研修等通常の時期以外に履修登録できない授業科目

2026年度
履修登録の手引き
2・3・4年次生用

2026年3月12日発行

発行 京都ノートルダム女子大学
〒606-0847
京都市左京区下鴨南野々神町1
編集 京都ノートルダム女子大学教務課
TEL. (075)706-3745(教務課)
FAX. (075)706-3790(教務課)
印刷 株式会社あおぞら印刷



KYOTO NOTRE DAME UNIVERSITY

京都ノートルダム女子大学

学 籍 番 号							氏 名